



2016 年 9 月 8 日

BMW グループが再びダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスの自動車セクターでトップに。

- **2016 年度も世界で最も持続可能性の高い自動車メーカーとしての評価を獲得。**

ミュンヘン発：

RobecoSAM AG が 9 月 8 日（木）に発表したダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)で、BMW グループが再び世界で最も持続可能性の高い自動車メーカーに選定された。自動車セクターでは毎年 3 社が選定されているが、BMW グループは 1999 年以来連続で選定を受けている唯一の企業である。

「BMW グループは今年創立 100 周年を迎えました。サステナビリティ(持続可能性)は当社のアイデンティティと戦略の重要な要素です。私たちは過去数年間に多くのことを達成し、将来についても引き続き具体的な目標を設定しています。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスで今回もトップに選定されたことを大変喜ばしく思います。このことは、当社の取り組みが引き続き効果をもたらしており、また当社が正しい道を進んでいることを示すものです。」BMW グループのサステナビリティ&環境保護部門を率いるウルスラ・マターはこのように述べている。

サステナビリティは BMW グループの企業戦略・企業文化に深く根付いている。2001 年に BMW グループは、国連の環境プログラムである「国連グローバル・コンパクト」と「クリーナー・プロダクション宣言」への参加を表明した。また、同社は既に 1973 年に自動車業界で初めて環境問題に関する責任者を任命した。今日では、BMW グループの全取締役がサステナビリティ・コミッティーに参加し、義務的目標の設定と戦略的方向性の策定を行っている。

これに関して BMW グループは総合的なアプローチを採用し、バリュー・チェーン全体を通じて持続可能性を追求している。戦略の要素には CO₂ 排出量の低減のほか、工場の環境保護、サプライ・チェーンの持続可能性、従業員研修、社会参加などのテーマがあり、継続的に推進されている。

BMW グループは 1995 年から 2015 年までの間に、欧州(EU28 カ国)での新車の CO₂ 排出量を 40%削減することに成功した。2015 年の CO₂ 排出量の平均値は、世界での 147g/km に対して欧州(EU28 カ国)では 127g/km となっている。これには、BMW の代替駆動システム搭載車両の着実な増加と革新的なモビリティ・サービスが大きく寄与している。

BMW グループは 2016 年 7 月以降、BMW i3 のような純粋な電気自動車や、従来型エンジンと電気モーターを組み合わせたプラグイン・ハイブリッド車を 7 モデル提供しており、このこ

とは持続可能なモビリティへのコミットメントを明確に示している。

BMW グループは生産と付加価値創造における再生可能エネルギーの使用に関して、指導的地位を確保することを目指している。今日でも既に、BMW グループの全世界での消費電力の58%が再生可能エネルギー由来となっている。たとえばライプツィヒ工場では、BMW i3 および BMW i8 の生産に必要な全電力を4基の風力発電機で賄っている。また米国サウスカロライナ州にあるスパータンバーグ工場では、生産に必要なエネルギーの最大50%を埋立地で発生するメタンガスから得ている。

さらに2015年にBMW グループは、材料輸送用に40トン電気トラックを初めて公道走行させた欧州最初の自動車メーカーとなった。

BMW グループのもう一つの目標は、サプライ・チェーンの透明性と資源効率を2020年までに大幅に向上させることである。これに関し、2015年にサプライヤーの事業所約1,900カ所で、自動車セクターに特化したアンケート形式の持続可能性評価を初めて実施した。評価対象には、指名中のすべてのサプライヤーの事業所のほか、将来取引の可能性のある、または現在稼働中のサプライヤーの事業所が含まれている。

BMW グループでは、従業員の教育訓練にも引き続き重点を置いている。2015年の教育訓練プログラムへの投資額は3億5,200万ユーロであった。また、BMW グループは全世界で1,500人以上の実習生を雇用した。現在BMW グループの職業訓練および人材開発プログラムの対象となっている若年従業員は約4,700人で、そのうち3,800人以上がドイツで就業している。

BMW グループは長年にわたって社内外で異文化交流事業を推進している。同社は国連「文明の同盟」(Alliance of Civilizations)プログラムと共同で、この分野で優れた実績を挙げたプロジェクトに「異文化イノベーション賞」(Intercultural Innovation Award)を授与している。

またBMW グループはミュンヘン工場の近隣社会プロジェクト「ライフトーク」(Lifetalk)を通じて、難民孤児、地元青少年、BMW 従業員の交流を促進している。この取り組みの目的は、キャリアパスの可能性を考えるにあたって若者を支援することにある。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクティブ・センター：
フリーダイヤル 0120-269-437 をご掲載ください。
受付時間：平日 9:00-19:00／土日祝 9:00-18:00
BMW インターネット・ウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8025(企業広報)